

## 住民説明会（4/28、5/10）質疑応答

### ご質問と回答

＜事業の進め方について＞

#### ①今回の施設整備は、いつ実施を決定し、誰が承認したのか

⇒地域の皆様等からの要望があり、葛飾区としては平成 28 年から施設整備の検討を開始し、平成 30 年には整備用地などについて広く調査を行うなど進めてきました。その中で、亀有駅近辺で土地を見つけることは非常に難しいという感触を得て、整備地を見つけることが、この事業を進めていくための優先課題と認識して、区主導で整備地を探してまいりました。そういった経緯があり、区といたしましては、今回地権者のご理解・ご協力を得ることが出来ました本整備地で検討を進めることを決定いたしました。

#### ②何故報道が先行しているのか

⇒報道については、葛飾区の令和 4 年度の予算案をプレス発表したもので、その中に今回の施設整備の予算案も含まれており、それが、新聞に取り上げられたものです。その後、議会における予算審議を経て、3 月・4 月には、本施設整備について議会に報告した上で、本日の説明会に至っているという状況です。今年度の予算案が 2 月のプレス発表の段階で報道されたことから、こうしたご説明の前に皆様の知るところとなったものです。

#### ③今後の展示内容や施設の運営にあたっては、柴又の川碁跡地の活用のように、地域の意見を聞いて進めるべきと思うがどうか

⇒運営面や施設の使い方等については、地域の方々のご意見を伺いながら進める場を用意したいと考えております。また、展示内容など、著作権元の監修が入る部分についても、反映することは難しいかもしれませんが、こうした場でご意見を伺っていきたくて考えております。

#### ④オリジナルグッズの開発には著作権元が関わってくるのか。また、通信販売や定期的な商品更新など、具体的にどの程度まで検討しているのか

⇒著作権元の間わりについてはご認識のとおりですが、商店街活性化の取組については、著作権元からも特段のご理解・ご協力をいただいております。

また、販売方法や更新頻度などの具体的な内容はまだ協議に至っておりませんが、今後検討を進めてまいります。

#### ⑤施設の運営方法は

⇒基本的には公設民営ということで、委託もしくは指定管理者制度の導入を想定しております。

<周辺環境について>

**①ごみ問題への対策はどのように行うのか**

⇒どこの観光地でも、ごみ問題やオーバーツーリズムの問題が生じております。葛飾区としては、住民の皆様にも観光というものを親しんでいただける、喜んでいただけるような環境づくりを行っていかねばいけないと考えており、ごみ問題の対策等についても、地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら進めていきたいと考えております。

**②整備用地前の混雑について対策してほしい**

⇒今回の予定地の前の通りは、かなり人通りが多くなっております。そのため、安全対策をしっかりと考えていく必要があります。施設内の導線もちろんですが、駅から施設までなど、外の導線についても対策を検討していきたいと考えております。

**③リリオ協の一方通行について、今も逆走する車両があるが、対策してほしい。**

⇒すぐに解決できるものではありませんが、関連部署と連携し、改善できる方向で努めていきたいと考えております。

<地域・商店街の振興について>

**①商店街全体が盛り上がるような取組を行うための検討の場を設けてほしい**

⇒今回の施設整備によってち亀の魅力を発信していくことはもちろんですが、単にこの施設にのみ人が来れば良いということではなく、ち亀以外の魅力も併せて楽しんでいただく拠点としていきたいと考えております。この施設整備をきっかけとして、これまで行ってきた協働を更に進めたく、地域の皆様にもご協力いただきたいと考えております。

**②商店街に誘客するための具体的な策は考えているのか**

⇒葛飾区としては、これまで町会や商店街と協働して謎解きイベントやスタンプラリーなどの回遊施策を実施し、実際に多くの方に亀有のまちを回遊していただけてきた実績があります。商店街の方々にもご協力をいただきながら、そういった取組を更に進めていきたいと考えております。

**③商店街を利用しているが、閑散としてきている。そのため、商店街の空き店舗などを活用して小さな地元密着の施設を作ってみても良いのではないかと思う。**

⇒今回、単にち亀の施設を作ることだけが目的なのではなく、施設を作ったことによって、商店街振興・地域振興に貢献できるようにすることが第一の目的です。これまでも町会、商店街の皆様と協働してきておりますが、この施設をきっかけに更に協働を推進していくことで、地域に人が流れるようにしていきたいと考えております。

<その他>

**①類似施設の成功・失敗事例について、どう分析しているのか**

⇒SNS 等を活用し情報発信を継続的に行っている施設や、地域と一体となった施設運営を行っている施設は、観光まちづくりの観点からも運営がうまくいっていると分析しております。

**②都市計画マスタープランとの関わりについてどう考えているのか**

⇒施設単体での努力ではなく、面的な観光まちづくり、また、ごみ問題を含めた環境的なまちづくりを進めていくことが必要です。それによって、住民にとっては住みやすい、観光客にとっては何度も訪れやすく快適な環境を作ることができると考えております。

**③寅さん記念館の近年の収支を教えてください**

⇒ここ数年はコロナの影響を受けて入館者数は減少しておりますが、平常時は年間 20 万人の来場を目標にして運営しており、入館料 500 円で収支が約 1 億円での運営を行っております。

**④柴又の川甚跡地の活用検討における有識者はどのような方か**

⇒観光に詳しい経営コンサルタントやデザイナー、外国人誘客に知見のある方などをお呼びしております。

**⑤今後宿泊施設を誘致する考えはあるか**

⇒現在誘致は考えておりませんが、機会があれば検討していきます。

**⑥建設経費はどの程度見積もっているのか**

⇒建物の造りや形状等によって変わってきます。今後設計をしていくなかで詰めていきたいと考えており、現時点では具体的な数字をお示しすることはできません。目安として、公共施設の建設にあたっては、平米あたり概ね 50~60 万円程度で推移しております。

**⑦どれほどの集客、収入を見込んでいるのか**

⇒建物の設計がこれからという段階で、開館日や開館時間、入館料等の運営の在り方についても設計と併行して進めていきます。そのため、現時点では具体的な数字をお示しすることはできません。目安として、柴又にある寅さん記念館は、年間 20 万人を目標として運営しておりますので、参考になるかと考えております。

**⑧近くに大きな駐車場というアリオ亀有しかないため、結局はそこに停めてしまうことが想定できるが、どう考えているのか**

⇒葛飾区では、観光経済実態調査という調査を行っており、来街者へのアンケートやヒアリングの結果、亀有地域に自家用車で来られる方は 1 割程度と低い数字でした。しかし、アリオ亀有に車を停めた方を商店街に誘客するための取組は必要ですし、商店街の中に駐車場を確保していくための検討も必要と考えております。

### ⑨体験機能とは具体的にどのようなものか

⇒美術館のように一方的に鑑賞して終わるというのではなく、来館者自身が遊べるような仕掛けをしていきたいと考えております。具体的には設計の中で検討していきますが、デジタル技術の活用やワークショップなど、実際に体感できるような工夫を凝らしていきます。

### ⑩工事ありきの設計で、もう工事業者が決まっているのではないか

⇒今年度は設計を行い、その後、工事の発注手続きを行います。まだ設計業者は決まっておりませんし、当然工事の業者も決まっておりません。

### ※亀有地区商店街協議会からもご意見をいただきました。

亀有地区商店街協議会は、亀有を盛り上げるため、これまでベーゴマ大会やスタンプラリーなど、こち亀を活用した様々な事業を進めてきました。また、各商店街でもいろいろな形でこち亀を活用しています。その中で、こち亀をテーマにした施設ができれば良いという話は当初から話していました。

こち亀の事業を実施するときには、亀有の人にも外の人にも楽しめることを目的としています。今後施設ができれば、銅像めぐりのスタンプラリーなどを実施して地域を回遊していただきたいと考えており、そうすることで、亀有の人にも、外の人にも来ていただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。